

手術室における幼児期の保護者同伴入室導入への問題点について

～質問紙の項目抽出までの報告～

キーワード：母子分離 保護者同伴入室 手術室看護

中央手術部

○駒田行生 植田春代 稲葉理恵 上西奈津子

石塚知紗 川渕康司 小木裕子

I. はじめに

幼児期（1～6歳未満）は、運動機能の発達が目覚しく、認知力が発達し、想像力も広がり、非日常的なものに対して不安や恐れが強くなる時期である。¹⁾さらに、手術室という見知らぬ環境に置かれることや、母子分離することの恐怖感がその後の発達段階に影響がでるといわれている。²⁾現在、中央手術部（以下、当手術部）では、母子分離の時間をなるべく少なくするために、入室ホールで看護師間の申し送りを行っている間、保護者に患児を抱っこしてもらおうといった工夫をしている。しかし、患児が入室ホールから手術室へ移動すると、保護者と離れることで不安による行動（啼泣したり、暴れたりする）がみられることが多い。

小児科専門病院などでは手術を受ける患児に対して保護者がともに入室し、入眠するまで付き添うといった、保護者同伴入室（以下、同伴入室）を取り入れている。³⁾同伴入室は、母子分離することなく不安が緩和され麻酔導入がスムーズになると先行研究で報告されている。⁴⁾当手術部でも以前より、同伴入室を導入したいという意見はあったが、今日まで実施できないでいる。そこで、実施できない問題点は何なのか具体的に知りたいたいと思い、当手術部スタッフに質問紙による調査を行うこととした。今回、質問紙の項目の抽出ができたのでここに報告する。

II. 研究方法

1. 研究期間

平成22年7月1日～10月1日。

2. 研究メンバーの構成（表1）

表1 手術室経験年数と人数

手術室経験年数	人数
2年目	2
3年目	2
5年目	1
7年目	1
合計	6

3. 研究方法

1) 問題点の抽出

上記の研究メンバーが、まず、同伴入室における先行研究⁵⁾⁶⁾を参考にし、同伴入室における一般的な問題点を抽出した。さらに、同伴入室を当手術部で導入するにあたっての当手術部における問題点を抽出した。抽出した内容に対してKJ法を用いて7つに分類した。

2) 質問紙の作成

7つの問題点をもとに質問紙の項目の抽出を行った。問題点の項目を抽出する段階で出てこなかった項目に対して、新たに項目を設け11カテゴリーの質問紙を作成した。

用語の定義

母子分離：乳幼児と母親とが物理的に離れている状態のこと。

Ⅲ. 倫理的配慮

看護部・看護研究倫理委員会に看護研究倫理審査申請書を提出し査定中である。

Ⅳ. 結果

KJ法を用いて導き出した問題点は次の通りである。

- 1) 同伴入室に対する知識の不足があるのではないか。
- 2) 時間における困難（入室、導入などの時間が現状より延びるのではないか）な問題があるのではないか。
- 3) 人員における困難（マンパワー不足、他部門の協力が得られるか）な問題があるのではないか。
- 4) 場所における困難（更衣の場所の確保できるか）な問題があるのではないか。
- 5) 倫理における困難（母親への説明が十分にできるか、他の患者のプライバシーの保護できるか）な問題があるのではないか。
- 6) システムにおける困難（マニュアルの整備、オリエンテーション内容、他部門との連携）な問題があるのではないか。
- 7) 清潔、不潔における困難（保護者同伴することでの空調汚染）な問題があるのではないか。

以上の問題点をもとに質問内容を作成し、11カテゴリーに分類した。質問紙の内容と項目数は表2の通りである。

表2 質問紙のカテゴリー内容と質問数

カテゴリー	質問数
現状分析	3
意識	7
業務的問題（時間）	8
業務的問題（人員）	8
業務的問題（場所）	5
業務的問題（スキル）	3
清潔・不潔	4
システム	13
倫理的問題	7
心理的問題	6
教育	3
合計	67

Ⅴ. おわりに

今回、当手術部で同伴入室を導入する上での問題点を明らかにするための質問紙を作成することができた。

今後、当手術部スタッフに対して、作成した質問紙にて調査を実施し、11カテゴリーにおいて何が一番問題なのかを明らかにし、同伴入室実施に向けての検討をしていきたいと考える。

文献

- 1) 桑野タイ子他：小児看護，中央法規，11-15，1996.
- 2) 並木昭義他：小児麻酔と周術期看護—より質の高い周術期看護を目指して，真興交易（株）医書出版部，23，2009.
- 3) 村田洋：親同伴入室—子ども病院の場合，OPE nursing，17（281），38-39，2002.
- 4) 藤本直美他：親子同伴入室における手術室入室から麻酔導入までの時間の検討，39，2003.
- 5) 谷口晃啓他：小児症例での円滑な麻酔導入—チャイルドライフスペシャリストの役割と親同伴入室の効果，11，152-155，2005.
- 6) 長谷奈生己他：全身麻酔手術を受ける小児の不安軽減への取り組み—保護者の同伴入室を試みて，24(3)，189-192，2003.